

## マダガスカル観光

平成21年5月  
在マダガスカル日本国大使館

マダガスカルは世界で4番目に大きなインド洋に浮かぶ島国です。18の国立公園、23の特別保護区によって保護された自然・動植物の宝庫であることから、マダガスカル全土で壮大なエコツーリズムが楽しめます。

### 1. 動植物

ゴンドワナ大陸の移動によって誕生したとされるマダガスカルは、他の大陸とは異なる独自の生物進化を遂げてきました。その結果、マダガスカルに生息する動植物の7割～8割が固有種であると言われています。

- (1) ペリネ特別保護区(中央部): 森に美声を響かせることでも有名な世界最大の原猿類インドリを始め、珍しい爬虫類や昆虫類が多く生息しています。
- (2) ベレンティ保護区(南部): テレビでおなじみの日向ぼっこをするワオキツネザルや横っ飛びするペローシファカその他、多くの鳥類、爬虫類、植物を観察することができるスポットです。
- (3) ムルンダバのバオバブ並木道(西部): 童話「星の王子様」に登場するバオバブの木が悠然とした姿でそびえ立っており、特に夕暮れ時の姿は圧巻です。

### 2. 世界遺産

マダガスカルには、自然遺産が2件、文化遺産が1件登録されています。

- (1) チンギ・デ・ベマラ厳正自然保護区(自然遺産として1990年登録: 西部): マダガスカル最大規模の公園で、何万年にもおよぶ雨や地下水の浸食によりカミソリの刃のように鋭く削られた石灰岩の景観はまさに圧巻です。
- (2) アツィナナナの雨林(自然遺産として2007年登録: 東部): 熱帯雨林が広がる東部一帯は、蘭やキツネザル等貴重な動植物の宝庫です。
- (3) アンブヒマンガの丘の王領地(文化遺産として2001年登録: 中央部): 初代メリナ王国(1787～1794)の王都であり、丘の上には当時の王が暮らしていた王宮が残っています。



シファカの親子



夕暮れのバオバブ街道

[渡航情報](#)